

令和 6 年度 ESAT-J YEAR 1 採点基準

Part A – 音読

評価	採点基準	
	発音と強勢	読む速さや間の取り方
	- 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 - 多少の誤りはあっても、聞き手が十分に理解することのできる発音である。	- 読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 - 不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができる。
	- 個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 - 発音の誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。	- 読む速さが適切ではないことがある（遅いまたは、一定ではない）が、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 - 不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがある。
	- 個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、発音に誤りがあり、強勢が適切ではないため、聞き手にとって分かりにくい。	- 読む速さが適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくい。
 (解答なし)	- 個々の語の大部分が分かりにくい発音であり、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 - または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。	解答全体を通して、読む速さが適切ではなく、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 - または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。

Part B – 会話

参考 CEFR-J	採点基準
A1.3	○<u>三つ全ての課題（二つの解答と一つの質問）</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。二つの解答のうち、少なくとも一つの解答において、内容を補足する情報を加えて表現している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 必要に応じて、平易な文を使っている。 - 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	○<u>三つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 - 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	○<u>三つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 - 文法と語彙に基礎的な誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくい。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた適切な解答をしていない。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 限られた単語や表現で答えている。 - 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	- 求められている解答内容から明らかに外れている。 - 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 - 力を測るための十分な量の発話がない。

Part C－イラストの説明

参考 CEFR-J	採点基準
A1.3	○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイント</u>（「何が」、「どこに」あるか）のうち、<u>少なくとも五つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 ・ 平易な文を使っている。 ・ 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。 ・ 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。
A1.2	○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも四つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 ・ 平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ・ 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。 ・ 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。
A1.1	○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイントのうち少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 ・ 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ・ 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。 ・ 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。
PreA1	○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な解答をしていない</u>。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 ・ 限られた単語や表現で答えている。 ・ 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ・ 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	・ 求められている解答内容から明らかに外れている。 ・ 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ・ 力を測るための十分な量の発話がない。

Part D – ナレーション

参考 CEFR-J	採点基準
A1.3	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにある全ての時間の表現を使い、三つのイラスト全てを一連の行動として説明している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 平易な文を使っている。 - 一連の行動の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞など）を使おうとしているが、多少の誤りがある。 - 文法と語彙に多少の基礎的は誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 - 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにあるいくつかの時間の表現を使い、三つのイラスト全てにおける行動を説明している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 平易な文を使っている。 - 各イラストの行動は順番に説明されているが、一連の行動の流れを順序立てて説明するための適切な表現を使っていない。 - 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、少なくとも二つのイラストの行動を説明している。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 - 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくい。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	○まとまりのない語句を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、行動を適切に説明していない。 ○主に、以下のような言語的な特徴がある。 - 限られた単語や表現で答えている。 - 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 - 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	- 求められている解答内容から明らかに外れている。 - 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 - 力を測るための十分な量の発話がない。